

地域内移動の活性化、災害対応等の機能を持たせた駐車場 「ヨコハスマートパーキング 緑園都市西口」が新たに開設されます 「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市（次代のまちづくり）」の推進

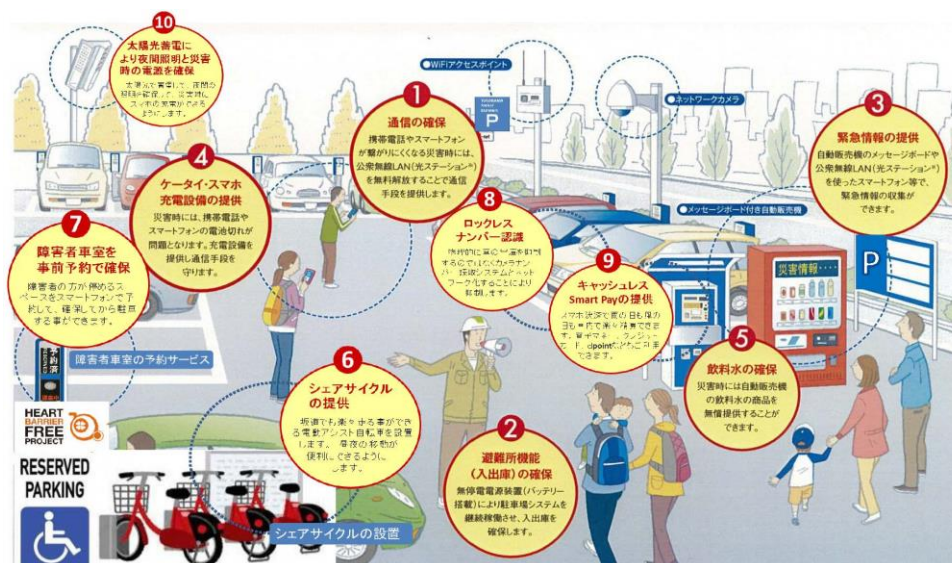
横浜市は、平成25年4月に相鉄ホールディングス株式会社と締結した包括連携協定に基づき、相鉄いずみ野線沿線において地域の課題解決や沿線の活性化を通じて、多様な世代が住みやすいまちを目指す「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市（次代のまちづくり）※¹」の取組を進め、産学公民が連携して駅前再整備や地域資源を活用した企画の開催、先進技術を活用した実証実験などさまざまな取組を行ってきました。

今回この取組の一環として、相鉄グループの株式会社相鉄ビルマネジメント（本社・横浜市西区）が、令和元年9月18日（水）に最新のICT（情報通信技術）を活用した駐車場として、相鉄いずみ野線緑園都市駅西口に「ヨコハスマートパーキング 緑園都市西口」を新たに開設します。

この駐車場は、地域の交通手段としてシェアサイクルを併設し、災害時における無料Wi-Fiアクセスポイント機能や携帯・スマホの充電機能、飲料水の確保等の機能を兼ね備え、さらに障害者用スペースも含めて事前予約を可能にした日本初のサービスが盛り込まれています。（詳細は、別紙の相鉄グループ広報担当記者発表資料をご参照ください。）

これらの機能を備えることで、「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市（次代のまちづくり）」の目指すまちづくりの視点※²にある「地域内移動の活性化による楽しいまち」及び「持続可能な仕組みによる安心・安全なまち」がさらに進むことが期待されます。

今後も、横浜市と相鉄グループは、地域資源を活用した環境に配慮したまちづくりや、多様な年齢層にとって住みやすいまちづくりを行い「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市（次代のまちづくり）」を進めていきます。



スマートパーキング（イメージ）

※1 相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市（次代のまちづくり）」とは

平成 25 年 4 月に横浜市と相鉄ホールディングス株式会社が「相鉄いずみ野線沿線における『次代のまちづくり』の推進に係る包括連携協定」を締結。地域住民の高齢化など、これから想定される課題の解決や沿線の再活性化に向けた取組を実施しています。

なお、平成 30 年 6 月に横浜市は「SDGs 未来都市」に選定され、これまでの環境未来都市の取組をステージアップし、環境を軸に経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現を目指します。

※2 「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市（次代のまちづくり）」の目指すまちづくりの視点
(「みらいに向けたまちづくりイメージブック 2015」より)

- 1 地域経済の循環により豊かな価値を創るまち
- 2 多様なサービスが連携するヨコツナギのまち
- 3 複合型ライフスタイルによる支えあいのまち
- 4 生活創造都市づくりによるチャレンジのまち
- 5 地域内移動の活性化による楽しいまち
- 6 持続可能な仕組みによる安心・安全なまち

SDGs
未来都市
横浜



お問合せ先

建築局住宅再生課担当課長 加藤 忠義

Tel 045-671-4458

* 本件は、相鉄グループと同日発表しています。